

さんぽみち

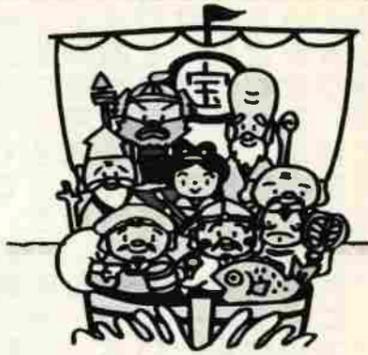
鶺の木地区地域情報紙

平成21年1月1日発行 第56号

発行：わがまち大田編の木地区推進委員会

編集：鶺の木地区地域情報紙編集委員会

事務局：鶺の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418



俳句

初夢や まさか親父の小言とは

行儀よき 猫にむかひて 御慶かな

初富士や 山の湯宿の 露天風呂

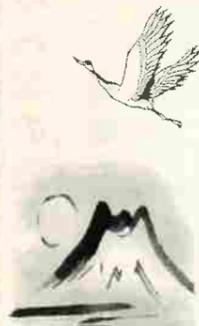
年玉や 福耳持ちらし 童かな

初仕事 昨日に変わる 貌になり

さりさりと 霜踏みしめて 宮参る

初春や 造り酒屋の 酒林

鶺の木三丁目町会 田中 明



お正月の伝統行事

どんど焼

鶺の木三丁目町会は、多摩川と緑の土手に囲まれた、とても環境の良い、自然に恵まれた町です。

この恵まれた環境の中心にある三丁目町会は、他の町会にない河川敷や広い野原がありますので、その土手の広場を利用して、毎年土手でお正月のお飾りを、町の皆様が町会に持ち寄り、そのお飾りを土手に積み上げ燃やして、どんど焼をやりませう。お正月のお餅を皆様に持って来て頂き、お汁粉を作ります。お汁粉は、婦人部、焼そばは、壮年の人に焼いてもらいます。どちらもとてもおいしいと評判です。毎年三〇〇人位の人達が、楽しみに集まり、一日楽しく、お汁粉に焼そばに舌鼓をうち、楽しく過ごして頂きます。今、町の中に広い場所も、火を燃やせる所もない町会の多い中、三丁目町会は、とても恵まれた場所にありますので毎年このような行事が出来、皆様に喜んで頂いています。年中色々な行事が出来るといい町会だと思えます。今年のだんどん焼は一月十一日です。又大勢の皆様のおいでをお待ちしております。楽しい一日を過ごしたいと思えます。鶺の木三丁目町会 富沢 アヤ子

第五回鶺の木地区高齢者ふれあいフェスタの開催

日時：平成二十一年三月四日(水) 午後一時～四時

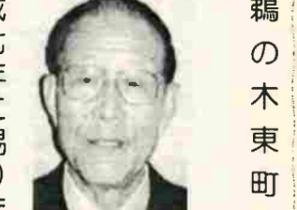
場所：大田区民プラザ 小ホール及び展示室

鶺の木地区では高齢者が明るく元気に自立して暮らす地域社会をめざして、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを対象に、三つの元氣塾を開催しています。今年度も元氣塾の活動の結晶として、「鶺の木地区高齢者ふれあいフェスタ」を開催します。今回のキャッチフレーズは、「つなごう 手と手を ふれあう笑顔」です。皆様のご来場をお待ちしています。 ○プログラム(予定) ・講演会「心と体にお得な老後生活のコツ」 ・講師：作家 岡田 信子先生 ・鶺の木保育園児のお遊戯 ・千鳥小学校PTAコーラスたんぼ合唱団による合唱 ・マジックショー ・出演：ミスターマック氏 ・ブラス(「出張予定」) ・東京マックス美容専門学校/日本工学院専門学校/株式会社学研コソファン/ユザワヤ商事株式会社/大田区社会福祉協議会/池上長寿園たまたがグループ/大田西地域行政センター/地域福祉課/キヤノン株式会社/みじの会/鶺の木ふれあい元氣塾/千鳥ふれあい元氣塾/マジックバルーン/おしゃべりサロン

総務大臣表彰受賞 誠におめでとうございます

平成二十年十一月二十八日、総務省において、鶺の木地区町会連合会佐藤大助会長が、大臣表彰による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。この表彰は、自治会・町内会等との協働による地域生活の向上に貢献した団体・個人に贈られるもので、全国的にも大変希少な栄誉です。佐藤会長は、この栄誉に大変喜び、受賞の機会を捉え、町会連合会や町会役員等に感謝の言葉を述べ、今後の地域活動に更に励んでいく覚悟を語りました。佐藤会長は、この栄誉を、町会連合会や町会役員等に感謝の言葉を述べ、今後の地域活動に更に励んでいく覚悟を語りました。

わがまちはみんなの元氣から



佐藤 大助 謹言
先にお慶びを申し上げます。このたびは、総務大臣表彰を受賞いたしました。この栄誉に大変喜び、受賞の機会を捉え、町会連合会や町会役員等に感謝の言葉を述べ、今後の地域活動に更に励んでいく覚悟を語りました。



今年が皆様にとって良い年であります。今年が皆様にとって良い年であります。今年が皆様にとって良い年であります。

成七年に賜りました叙勲に続き、深く感謝を申し上げます。今後は、今後の地域活動に更に励んでいく覚悟を語りました。安全で安心して地域社会づくりのため、平成十七年から「防犯パトロール活動」を継続し、今日まで「空巢事件0件」を達成しております。また、毎年東調布第三小学校PTAの方々と防災訓練を行ない、地域一体の防災対策を推進しております。さらには、夏の納涼盆踊り、青少年の健全育成としてお子様のご入学祝い、高齢者への敬老記念品の贈呈等を行い、地域の親睦を深めるとともに、鶺の木地域の取り組みである「高齢者ふれあい事業」や「オアシス運動」に協力し、地域の輪を広げております。ご支援、ご協力をいただき、ご支障なく、ご協力をお願いいたします。

う心よりお祈り申し上げます。当町会は商店のない勤め人の街。特にここ数年、新しい家庭が増え、子供とお年寄り、勤めの方が多町に変わって来ました。お早うの思いやりのある豊かな町づくり。今回の「オアシス運動」を通して、お隣り同士のつながりのある町。今、子供達と顔をあわせ、「声」おはよう「こんにちは」の挨拶、元気に明るい言葉がかえって来る。ふれ合いの思いやりの生活の中で、標語の実践活動が生れて来るものと実感しております。当町会でも、先に申し上げた「近所づきあい」「オアシス運動」を通して、「おはよう」「こんにちは」の挨拶が生まれ、みんなが元気に安心して生活出来る町づくりに、今年一度一層の努力をしてまいりたいと思っております。

男	10,803人
女	11,559人
計	22,362人
世帯数	11,715世帯
〈平成20年12月1日〉	

新任編集委員紹介

鶺の木西町会 佐瀬 光男
鶺の木二丁目町会 佐々木 すん子
千鳥南町会 渡辺 靖彦
(敬称略)

編集後記

皆様、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今回は、「元氣な町づくり」に日夜努力をなされておられる町会長さんに、新年度の抱負についてコメントを頂きました。有り難うございました。編集委員(各町会二名)一同、よりよい編集に努めてまいりますので、皆様、本年もよろしくお願ひ申し上げます。 編集長 永田 清

わがまちはみんなの元気から

千鳥南町会長



大芦 重雄
新年を迎え、町会として鶴の地区町会連合会の皆様と、元気で幸せな年でありませうと祈り申し上げます。

私達の町会は、多くの課題が残っていますが、私は「課題があること」自体が重要なのではないかと考えています。地域の方々と相談し、力を合わせて取り組み、無理のない運営を進めていくことが大事であると思っています。会館では、階段の昇り降りにご苦労をかけていますが、エレベーターの取付けは大きな課題です。長い時間でも、快適な利用が可能になるよう、座椅子は八十脚を用意しました。会館が多くの方に利用される喜びと笑顔が町に溢れているのは、何よりです。これから町会の皆さんと力を合わせ、笑顔溢れる住みよい安全な町づくりを進めていく事が、皆様の元気につながると思っています。

風の色輝く未来を
鶴の木西町会長



古谷 資友
新年明けましておめでとうございます。国際化が急速に進む現代、地域の人々が、明るく元気に生きて行くには、何が必要なのでしょう。それが、健康、経済、教育、環境の四つの「K」が求められるとわたしは考えます。「健康な身体」と「心の保全」が、その実践のための前提、第一条件となります。経済の観点からは、生活していく上での手段として、「お金(カネ)」。その「使い方の如何」こそが問題となるでしょう。教育は、心の問題。「個人の価値観の形成」と「他者とのふれあい」を大切にすることです。環境は、自然とのふれあい。地域の風の色、水の流れる季節の変化を感じる生き方が大事です。明るい未来に向けて、今年も元気に生きて行きましょう。

無事平穏に、そしてできたなら楽しく暮らす、それで結構だという考えがあります。それはそれで悪い事ではありません。しかしこれでは一生を省みただけの生きてきたと、言うだけのことになって、年月が過ぎればなにか、物足りない感じがするかも知れません。人が喜んでくれた、自分も気持ちよかったです、何か好きな事をした。そういう気持ちで人生を過ごす事が出来たらどうでしょう。挨拶を中心に置きお互いに皆で助け合い、安心で、安全な街づくりを進めるように生きたら素晴らしい生きがいを感じる事ができると信じます。

生きがい
鶴の木二丁目町会長



松本 浩三
人間として、生きがいをどこに求めるか、人それぞれ異なる所です。自分だけが無事平穏に、そしてできたなら楽しく暮らす、それで結構だという考えがあります。それはそれで悪い事ではありません。しかしこれでは一生を省みただけの生きてきたと、言うだけのことになって、年月が過ぎればなにか、物足りない感じがするかも知れません。人が喜んでくれた、自分も気持ちよかったです、何か好きな事をした。そういう気持ちで人生を過ごす事が出来たらどうでしょう。挨拶を中心に置きお互いに皆で助け合い、安心で、安全な街づくりを進めるように生きたら素晴らしい生きがいを感じる事ができると信じます。

た。未経験なことには戸惑いながらも理事、役員の方々のご協力を頂き数々の行事を無事行うことができ、まず有難く感謝を申し上げます。そして昨年は、北町会員永年の願望でした町会会館の取得が出来、大田区行政を始め出張所の方々の過分なご尽力に対し重ねて御礼申し上げます。さて千鳥北町会は、所帯数が少ない地区ですが、だからこそ町内会をより大切に心の通い合える町、共に支えあえる町にしたいと思っております。かつて私の世代は「昭和」の時代と呼ばれていました。戦争の時代を生きて、疎開、空襲、そして敗戦を知り、焼跡からの復興、高度成長から今日の景気後退まで「見るべきものは見つ」の心境です。昭和一桁の私の経験から善し悪しを熟慮しながら、信頼し合える楽しい元気な町を皆で目指したいと思っています。

千鳥北町会長



米本 篤生
故川上会長をお受けして今年で五年目を迎えます。後継者不足の町会として戸惑いながらも理事、役員の方々のご協力を頂き数々の行事を無事行うことができ、まず有難く感謝を申し上げます。そして昨年は、北町会員永年の願望でした町会会館の取得が出来、大田区行政を始め出張所の方々の過分なご尽力に対し重ねて御礼申し上げます。さて千鳥北町会は、所帯数が少ない地区ですが、だからこそ町内会をより大切に心の通い合える町、共に支えあえる町にしたいと思っております。かつて私の世代は「昭和」の時代と呼ばれていました。戦争の時代を生きて、疎開、空襲、そして敗戦を知り、焼跡からの復興、高度成長から今日の景気後退まで「見るべきものは見つ」の心境です。昭和一桁の私の経験から善し悪しを熟慮しながら、信頼し合える楽しい元気な町を皆で目指したいと思っています。

宝幢院
平安末期の創建と伝えられる。寺に伝わる梵鐘は、延享九年(一七八一)に多摩川の河原で鑄造したといわれる。寺内には、寛永二十年(一六四三)の銘の入った区内最古の水船(手水石)がある。玉川八十八番札所で、四国八十八霊場をたどる石碑もある。

わがまちはみんなの元気から

鶴の木三丁目町会長



本橋 政昭
昨年、東京都助成事業として大きく前進した「オ・ア・シ・ス運動」が、家庭、学校、そして地域全体に広がりました。今年も豊かな優しい心が溢れる町にしたいものです。

私達の町会は、一月十一日のどんと焼きから平成二十一年の行事がスタートします。役員の方々の指導で、羽根つきの遊びもありません。「どんと焼き」の火で焼くお餅を食べると風邪をひかないんだよと子ども達に教える「年配の方」。季節の行事をできる限り多く取り上げ、自然と「オ・ア・シ・ス運動」の心も伝えていきたいと思えます。町の様子も外の景観も少しずつ変化中、皆様のご協力を頂き、子ども達の夢想像力を育むためにも楽しみます。本年も皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

散歩してみませんか

大田区内の都立高校周辺巡り その七

六郷工科高等学校
平成十六年開校の単位制工業高校で、全国で始めての事業として産業界と学校とのパートナーシップにより、協同して人材育成を行う、新しい職業教育システムを採っている。一年次にいくつかの職業を体験し、二年次以降に企業と契約し、長期就業訓練を行い、実践的な知識・技術を習得する。協力企業は、二〇〇社に及びようである。また、資格取得や、大学進学を目指してもいる。

散歩してみませんか

大田区内の都立高校周辺巡り その七

安養寺
古川薬師とも呼ばれ行基が近辺の銀杏の霊木で、薬師・釈迦・阿彌陀の像をつくり、これを安置する御堂を建てたのがはじまりといわれる。開創は和銅三年(七一〇)である。門前には、区画整理のため雑色より移された、東海道から古川薬師への分岐点に建てられた。江戸時代の道標では、区内に残る二基のうちの一基である。川原の河原で行われ、古くから伝わる伝統民芸である。区役所三階のホールには、大とんぼが展示してある。



六郷工科高等学校所在地
大田区東六郷二一八一二
京急雑色駅より徒歩約三分
鶴の木東町会
木村 希代子
南久が原一丁目町会
青木 幸子